

基本構想（文章案）

1. 将来像 ～ 笑顔を礎に、希望ある未来へ ～

~~【将来像】~~ つながりと挑戦で、未来をつくるまち村上

将来像の考え方

本市では、人口減少や少子高齢化の進行、地域経済や地域コミュニティの変化など、これまでにない大きな環境変化に直面しています。

このような時代においても、地域の活力を維持し、誰もが安心して暮らし続けられる持続可能なまちづくりを進めていく必要があります。

意見No.14

そのために大切となるのが、これまで受け継いできた歴史や文化、地域の営みを未来へつなぐとともに、人と人、地域と地域、世代や分野、市内外を結ぶ「つながり」です。多様な主体が支え合い、連携しながら、それぞれの力を生かすことで、新たな価値や可能性が生まれます。

進化のストーリー

意見No.14・15

これまで大切にしてきた「あふれる笑顔」と人と地域のつながりを礎に、時代の変化を前向きに捉え、新たな挑戦によって未来を切り拓くまちへ

配置変更

村上市では、長い歴史の中で育まれてきた歴史・文化・自然・人々の営みなど、多くの地域の財産を受け継ぎながら、まちづくりを進めてきました。

第3次総合計画では、こうした地域の力を生かしながら、「あふれる笑顔のまち村上」を将来像として掲げ、笑顔あふれるまちを目指してきました。

第4次総合計画では、これまで大切にしてきた「笑顔」への想いを受け継ぎ、その笑顔を支えてきた人や地域の「つながり」をさらに広げ、そのつながりを力として新たな「挑戦」へつなげます。

こうしたこれまでのまちづくりを継承し、さらに発展させながら、「つながりと挑戦で、未来をつくるまち村上」を目指します。

将来像に込めた想い

意見No.14

「つながり」には、先人から受け継いできた歴史や文化、人々の想いを過去から現在、未来へつなぐ「時のつながり」、人と人、世代や分野を超えて支え合う「人のつながり」、市内の地域はもちろん、市外の人や地域とも連携する「地域のつながり」という想いが込められています。

こうした様々なつながりを広げ、それぞれの力を生かすことで、新たな価値や可能性を生み出していきます。

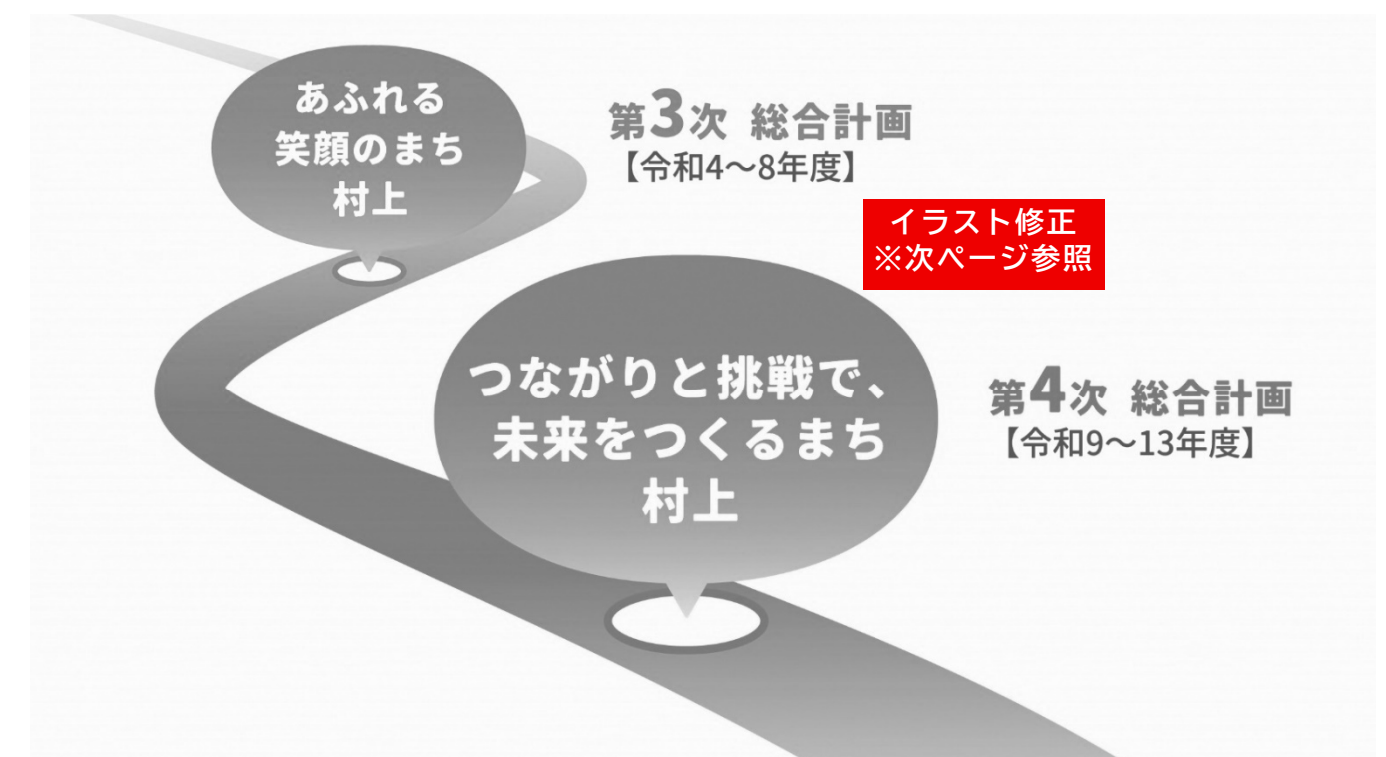
「挑戦」には、時代の変化を前向きに捉え、つながりを力として新たな価値や可能性を切り拓く想いが込められています。

「つながりと挑戦で、未来をつくるまち」は、これまで大切にしてきた想いを受け継ぎながら、人と地域の力を結集し、希望ある未来をともに創り上げていく理想のまちを表しています。

イメージイラスト（案）

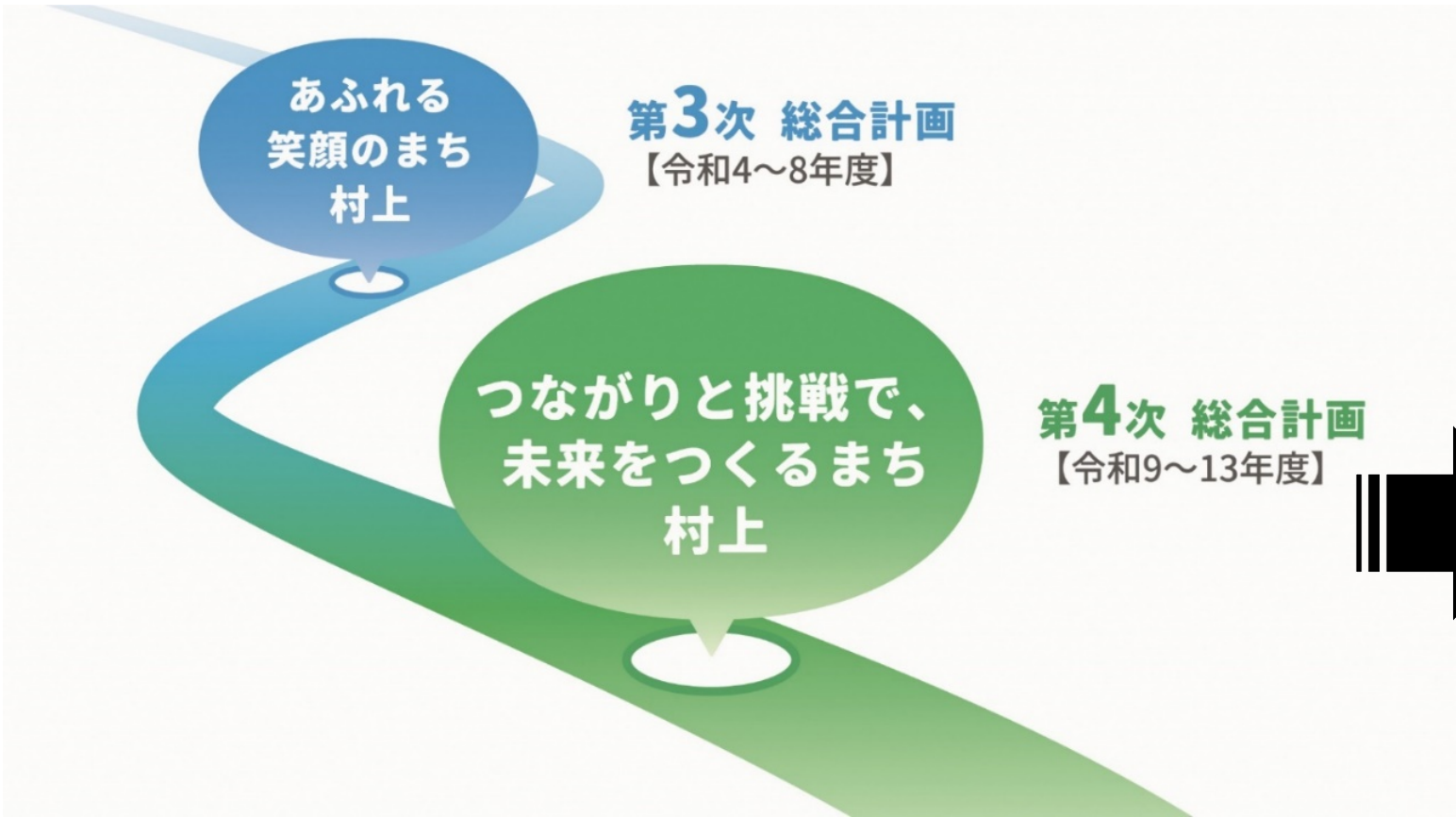


つながりと挑戦で、
未来をつくるまち村上



意見No.14、No.15

修正前



修正後



基本構想（文章案）

2. 基本理念 ～ともに創り 育み 広げていく 未来へ～

基本理念とその意味

基本理念の3つの要素「まちづくりのエンジン」

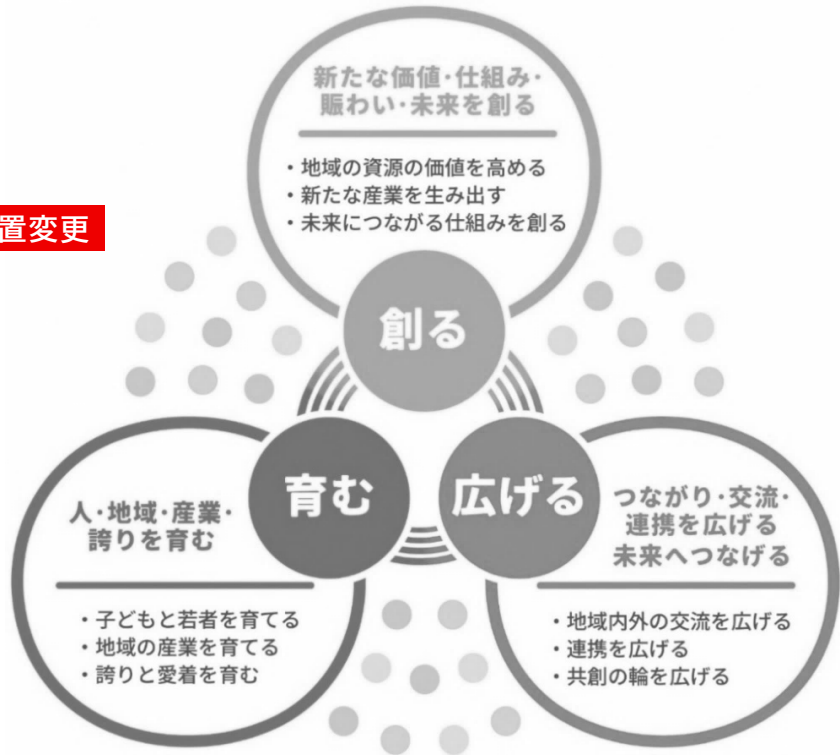
創る	育む	広げる
新たな価値・仕組み・賑わい・未来を創る ・地域の資源の価値を高める ・新たな産業を生み出す ・未来につながる仕組みを創る	人・地域・産業・誇りを育む ・子どもと若者を育てる ・地域の産業を育てる ・誇りと愛着を育む	つながり・交流・連携を広げる未来へつなげる ・地域内外の交流を広げる ・連携を広げる ・共創の輪を広げる

この3要素を進めることにより、物事を前に進める力や持続させていく力を高めます。

基本理念の考え方

まちづくりの基本理念は、本市のまちづくりを進めていくうえで、市民一人ひとりと行政がそれぞれの立場でともに大切にしなければならない基本的かつすべてに共通した考え方を示したものです。**配置変更**

第4次村上市総合計画においては、第3次村上市総合計画で掲げたまちづくりの基本理念を引き継ぎながら、「創る」「育む」「広げる」の3つの要素に、つながりや共創、新たな価値を生み出す視点を加え、これからの時代に合わせてその意味を深化させます。これらを、あらゆる場面に共通して必要な考え方として位置付け、持続可能なまちづくりを進めていくことを表現しています。



第3次総合計画では、食や賑わい、芸術などを「創る」、誇りや人材、産業、伝統などを「育む」、笑顔や交流を「広げる」など、「何を創り、育み、広げるか」という考え方を基本理念としてきました。

第4次総合計画では、この基本理念を引き継ぎながら、地域資源から新たな価値や仕組みを創り、人・地域・産業・誇りを育み、市内外の人や地域とのつながり、連携、共創の輪を広げることで、それらを「未来へどうつなげるか」という視点まで意味を深めます。

意見No.16

イラスト追加



3. 基本目標 ～村上の未来を描く設計図～

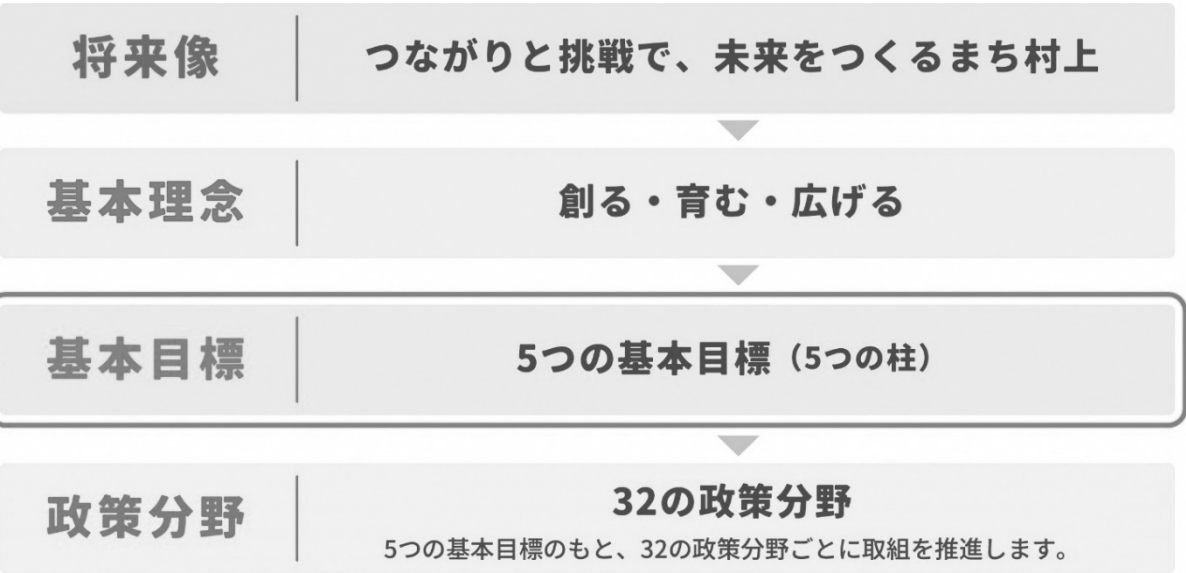
基本目標の考え方

基本目標は、本市が目指す将来像を実現するために、まちづくりを進める上で大切にする5つの柱となる方向性です。

市民・団体・企業・行政など、あらゆる主体が連携・協働しながら、各分野の取組を推進し、「つながりと挑戦で、未来をつくるまち村上」の実現を目指します。

1. 子育てと健康のまち
2. 豊かで安心なまち
3. 魅力ある賑わいのまち
4. 人が輝く郷育のまち
5. 多様性が広がるまち

イメージイラスト（案）



基本構想（文章案）

基本目標

1

子育てと健康のまち

を目指します

誰もが孤立することなく地域で支え合い、こころも体も健康で、安心して子どもを産み育てながら、生涯を通じて自分らしく暮らせるまちをつくります。

政策分野ごとの目標



子育て

こどもの権利が擁護され、誰もが安心して産み育て、その幸せが未来へと続くまちを目指します。



健康・医療

地域医療体制を維持し、市民が主体的にこころと体の健康づくりに取り組めるまちを目指します。



高齢者福祉

高齢になっても認知症になっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる社会を目指します。



障がい者福祉

障がいの有無にかかわらず、誰もが自分らしく安心して暮らし、地域に参加できる支え合いのまちを目指します。



地域福祉

誰も孤立せずみんなで助け合い、途切れのない支援で安心して子育てができるまちを目指します。

基本目標

2

豊かで安心なまち

を目指します

安全で強靱な生活基盤を整え、自然と調和した快適で豊かな暮らしを支え、安心して住み続けられるまちを目指します。

政策分野ごとの目標



防災

災害に強く、誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指します。



消防・救急

消防・救急体制の強化による安全・安心なまちづくりを目指します。



防犯・交通安全

犯罪や交通事故のない安全・安心なまちづくりを目指します。



環境・エネルギー

豊かな自然が保たれ、脱炭素社会の実現により、美しい郷土を次世代に引き継いでいきます。



生活衛生

循環型社会による、快適で暮らしやすいまちづくりを目指します。



上下水道

持続可能で強靱な上下水道ライフラインを目指します。



河川・海岸

治水施設と市民の防災力が共働し、安全・安心が確保されるまちを目指します。



道路

安全で効率的な道路ネットワークが、地域の活力を支えるまちを目指します。



公共交通

快適で、持続可能な移動環境を有するまちづくりを目指します。



市街地・景観

歴史と伝統を守りながら、快適に暮らせるまちづくりを目指します。



住環境

快適な住環境を維持し、住み続けられるまちを目指します。

基本構想（文章案）

基本
目標

3

魅力ある賑わいのまち

を目指します

地域資源や産業の力を生かし、
活力と賑わいにあふれるまちをつくとともに、
市内経済の好循環を目指します。

政策分野ごとの目標



農業

資源や環境を守りながら、未来につなげる
持続的な農業づくりを目指します。



林業

森林資源の循環利用により、林業の活性化と
脱炭素社会に貢献する森づくりを目指します。



水産業

他業種と連携し、水産業の付加価値と収益を高め、
持続可能な水産業を目指します。



商工業

デジタルと伝統が共生し、
若者が夢を叶えるまちづくりを目指します。



観光

地域の魅力を活かし、多様な旅行者が滞在し、
市民とともに賑わいを創出する観光地を目指します。



港

港を核とした賑わいと産業が共存し、
安全・安心が確保されるまちを目指します。



就労雇用

誰もが地元で夢を形にし、
挑戦と活気があふれるまちづくりを目指します。

基本
目標

4

人が輝く郷育のまち

を目指します

あらゆる世代が学び、文化やスポーツに親しみ、
学びや経験を地域に生かしながら、
郷土への誇りと生きがいを育むまちを目指します。

政策分野ごとの目標



学校教育

子どもたちを育む学校教育の充実したまちを目指します。



生涯学習

市民が気軽に集い、生涯を通じて多様な学びと成果を活かせる
まちを目指します。



文化芸術

文化芸術に親しみ、歴史や文化財の魅力あふれるまちを目指
します。



スポーツ

誰もがスポーツを楽しみ、心身ともに健康で、いきいきと輝
く生涯スポーツのまちを目指します。

さといく

意見No.17

基本構想（文章案）

基本目標

5

多様性が広がるまち

を目指します

意見No.18

多様な人が互いを認め合い、~~地域と行政がつながり、~~
~~人々との対話と魅力発信を通じて、~~デジタルを生かし
ながら、誰もが自分らしく活躍できる持続可能なまち
を目指します。

政策分野ごとの目標

	共生社会	誰もが自分らしく暮らせるまちを目指します。
	地域づくり	地域の活力を感じるまちを目指します。
	広報広聴	誰もが情報を得やすく、 情報のアクセシビリティを確保し、 市内外の人々との 双方向の 対話と魅力発信を 大切にする通 じて、ともに歩むまちを目指します。
	デジタル	安心・安全に暮らせるまち「スマートむらかみ」を実現しま す。
	行政運営	きめ細やかな行政サービスと効率的な行財政運営で、持続可 能な未来を築くまちを目指します。

4. 土地利用構想 ～ 将来の土地利用の方向性 ～

意見No.20・21・22

土地利用の考え方
本市は、広大な市域の大部分を森林が占めており、北部、南部、海岸部の居住地域や山間集落が点在してい
ます。人口減少や高齢化が進む中においても、~~市民が市内のどの地域に住んでいても安心して暮らし続けら~~
~~れる環境を維持するため、地域の特性や生活圏に応じた機能の配置と、地域間を結ぶ人や地域をつなぐ様々~~
~~なネットワークの確保を土地利用の基本的な考え方とします。~~

人口減少社会においては、生活に必要な機能を一定の地域へ集約することが重要である一方、~~周辺地域を含~~
~~め、~~市域全体の暮らしを維持していくことも必要です。そのため、本市では、「集約」と「生活維持」の両
立を基本とし、~~それぞれの地域が担う役割を明確にしながら、持続可能なまちづくりを進めます。必要なサ~~
~~ービスへのアクセスを確保しながら、市内のどの地域に住んでいても安心して暮らし続けられるまちづくり~~
~~を進めます。~~

この考え方に基づき、行政、商業、広域的なサービス機能などが集積する村上地域の市街地圏域を「中心拠
点」と位置付け、本市全体の暮らしや活動を支える中核として、より高度な都市機能の充実を図ります。

また、中心拠点を補完し、周辺地域の日常生活を支える地区を「地域拠点」と位置付け、生活に必要なサー
ビス機能の維持・充実を図るとともに、周辺地域からも利用しやすい生活利便性の確保を目指します。

さらに、中心拠点から距離があり、生活サービスの維持が特に重要となる地域を「北部生活圏」と位置付け、
支所や駅、医療・福祉機関など、日常生活に必要なサービス機能の維持・確保を図り、地域で安心して暮ら
し続けられる生活環境を支えます。

中心拠点、地域拠点、北部生活圏は、それぞれの周辺地域を含めた市域全体の暮らしを支えるための拠点・
生活圏として位置付けるものです。山間集落をはじめとする各地域についても、これらの拠点等とのつなが
りを確保し、必要なサービスへアクセスできる環境を維持していきます。

~~また、~~整備が進む高速道路は、市内を南北に結ぶ~~高速移動軸~~広域道路軸として、人やモノの流れを活性化さ
せる重要な役割を担います。高速道路を活用した市内産木材の運搬や木質バイオマス発電、駅周辺の再整備、
洋上風力発電、道の駅などの取組を結び付け、新たな産業や交流の創出を図りながら、地域活力の向上につ
なげます。

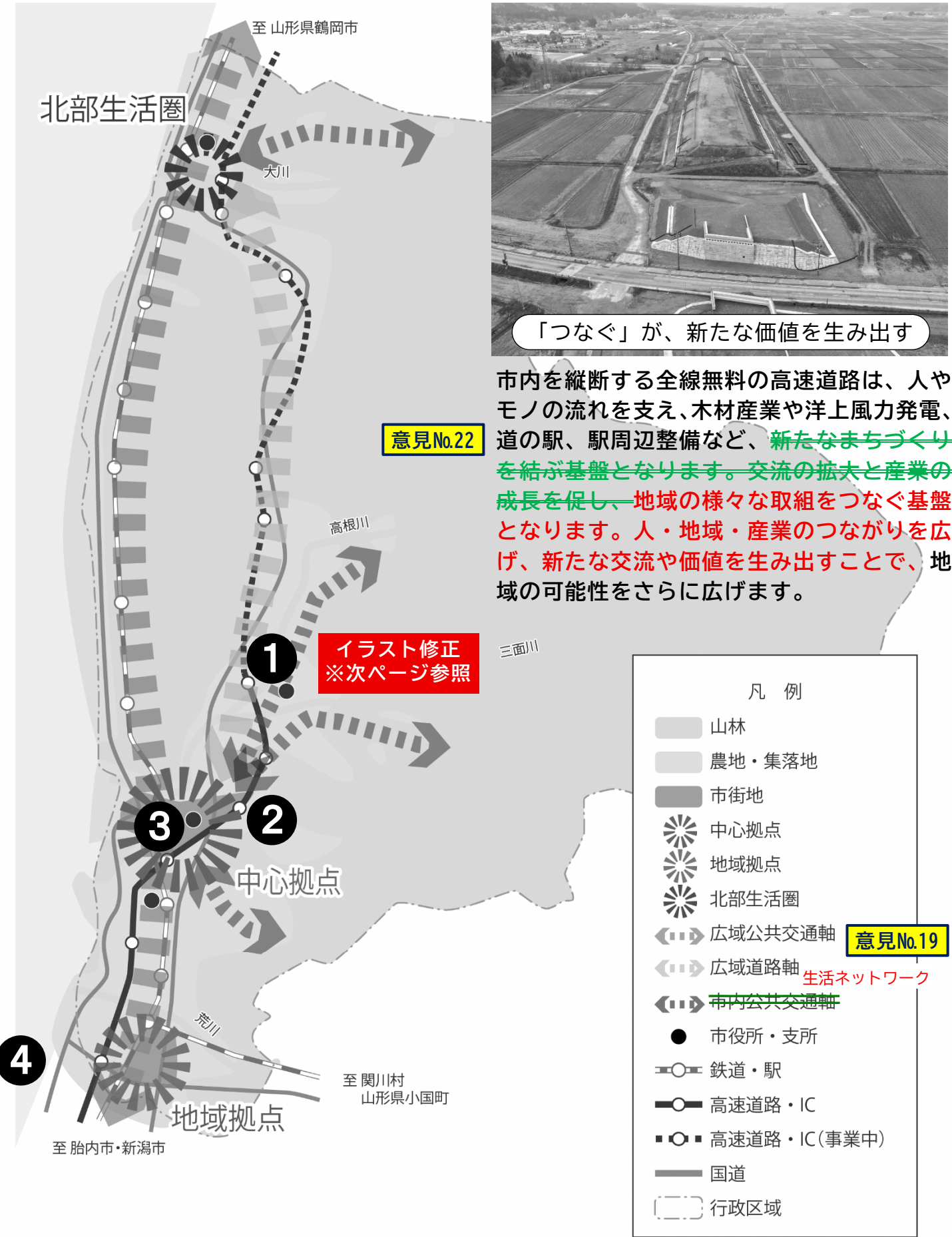
~~さらに、山間集落をはじめとする各地域においては、中心拠点、地域拠点及び北部生活圏とのつながりを維~~
~~持することが暮らしを支える重要な基盤となります。公共交通の維持・確保に加え、デジタル技術の活用によ~~
~~って移動負担を軽減し、必要なサービスへアクセスできる環境づくりを進めます。また、市域全体の暮ら~~
~~しを支えるためには、道路や公共交通などの物理的なネットワークだけでなく、情報通信基盤やデジタル技~~
~~術も含め、人や地域、サービスを幅広く「つなぐ」ことが重要です。公共交通の維持・確保に加え、デジタ~~
~~ル技術を活用することで移動負担を軽減し、市内のどの地域に住んでいても必要なサービスへアクセスでき~~
~~る環境づくりを進めます。~~

こうした様々な「つながり」によって、拠点や地域それぞれの機能や特色を生かし、人やモノの交流、連携
を促進することで、新たな価値や可能性を生み出します。

豊かな自然環境と地域特性を生かしながら、~~市民一人ひとりが安心して暮らし続けることができる「集約」~~
~~と「生活維持」を両立し、市域全体の暮らしを支えるとともに、「つなぐ」ことで新たな価値を生み出す、~~
持続可能な村上市を目指します。

基本構想（文章案）

まちの未来の地勢図 構想図 [人と地域をつなぐまちの骨格]



行政、商業、広域的なサービスなどの都市機能を集積し、本市全体の暮らしや活動を支える中核拠点として機能の充実を図ります。



中心拠点を補完する拠点として、日常生活を支えるサービス機能の維持・充実を図るとともに、周辺地域の生活利便性を支えます。

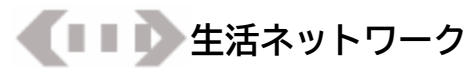


中心拠点から距離のある地域において、日常生活に必要なサービス機能の維持・確保を図り、地域の特性を生かしながら、安心して暮らし続けられる生活環境を支えます。



意見No.19

整備が進む高速道路は、市内を南北に結ぶ高速移動軸 広域道路軸として、人やモノの流れを活性化させ、北部と南部の交流や産業活動を支えます。



意見No.20・21

~~山間集落と拠点を結ぶ公共交通を維持・確保し、自家用車を運転できない高齢者などの移動手段を確保します。~~

公共交通やデジタルを活用して地域間のつながりを確保し、市内のどこに住んでいても必要なサービスにアクセスできる環境を整え、暮らしを支えます。

..... 土地利用を支える考え方

意見No.20・21・22

産業・人やモノの流れの活性化

地域資源や高速道路網を活かし、産業振興を図るとともに、~~北部と南部を結ぶ移動の利便性向上や拠点間の連携強化を通じて、地域活力の向上を図ります。~~地域や拠点をつなぎ、人やモノの交流と連携を広げることで、新たな価値や地域活力の創出につなげます。

デジタルの活用

~~デジタル技術の活用により、物理的な移動を減らし、日常生活に必要なサービスが利用できる環境を目指します。~~情報通信基盤やデジタル技術を活用し、市内のどの地域に住んでいても、日常生活に必要なサービスを利用できる環境づくりを進めます。

「集約」と「生活維持」の両立により、豊かな自然とともに、持続可能な村上市をつくります。人と地域をつなぎ、市域全体の暮らしを支える持続可能な村上市をつくります。





基本構想（文章案）

5. 将来に備える重点視点

～ 人口減少時代を乗り越え、持続可能な村上市をつくるために ～

4つの重点視点

人口減少への適応 意見No.23	人づくり 担い手確保	デジタル活用 効率化	共創の連携 意見No.24
人口減少を前提に、将来のまちの姿を描き、柔軟に適応する 人口減少の中でも地域の活力を維持し、持続可能なまちをつくる 人口減少を見据えた将来の人口構造や地域の実情に応じた土地利用・施設配置の最適化 公共施設の集約・再編・維持管理の効率化 地域の特性に応じた生活基盤の維持	次世代を担う人材を育て、多様な主体が活躍できる環境をつくる 子育て・教育環境の充実による若者の定着 多様な働き方の推進と雇用の創出 地域活動や産業を支える人材の育成・確保	デジタル技術を活用し、暮らしや行政サービスの質を高める デジタル技術の活用による市民サービスの向上 移動・医療・教育などの利便性向上 各種業務の効率化	市民・地域・企業・行政が力を合わせ、分野を超えて課題解決に取り組む 多様な人や主体が、それぞれの力を生かして、ともにまちをつくる 市民・地域・企業・行政との協働の推進 地域資源の活用と価値の共創 男女がともに自分らしく参画・活躍できる環境づくり

重点視点の考え方

人口減少・少子高齢化の進行、担い手不足や財政制約の高まりなど、~~社会環境の変化は今後さらに加速します。~~本市を取り巻く社会環境は大きく変化しています。

意見No.23

こうした変化に的確に対応するとともに、人口減少の抑制に取り組み、市民一人ひとりが安心して暮らし続け、地域の活力を未来へとつないでいくことが重要です。

~~このような時代においても、市民一人ひとりが安心して暮らし続け、地域の活力を未来へとつないでいくためには、~~そのためには、分野を越えて共通する視点を持ち、限られた資源を効果的に活用することが不可欠です。

本市では、5つの基本目標に基づく取組を、以下の4つの重点視点を横断的に取り入れながら推進します。

イメージイラスト（案）

